

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年9月26日(2019.9.26)

【公表番号】特表2018-531056(P2018-531056A)

【公表日】平成30年10月25日(2018.10.25)

【年通号数】公開・登録公報2018-041

【出願番号】特願2018-510847(P2018-510847)

【国際特許分類】

A 6 1 N 1/04 (2006.01)

A 6 1 B 5/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 N 1/04

A 6 1 B 5/16 1 1 0

【手続補正書】

【提出日】令和1年8月13日(2019.8.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの振動要素および種々の振動周波数で前記振動要素に振動を引き起こす手段と、心臓信号または呼吸信号の監視手段と、データ処理手段とを備えている、ストレスの自己調節を補助するための装置であって、

前記データ処理手段は、前記心臓信号または前記呼吸信号に基づいてストレス指示値を計算するための手段を含み、前記データ処理手段は、前記振動要素に引き起こされる1つ以上の周波数の振動を含む機械振動リズムを前記ストレス指示値に基づいて決定する手段を含むことを特徴とする、装置。

【請求項2】

前記装置は、着用または装用可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記データ処理手段は、測定される心拍または呼吸数ならびに前記計算されるストレス指示値と、前記引き起こされる振動リズムとの間の継続的なリアルタイムのフィードバックループを生成するように構成されていることを特徴とする、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記引き起こされる振動は、30ヘルツ未満の近超低周波であることを特徴とする、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

当該装置は、当該装置の前記振動要素がユーザの身体の胸郭領域に位置するように当該装置をユーザに取り付けるための取り付け手段を含むことを特徴とする、請求項1に記載の装置。

【請求項6】

前記取り付け手段は、ユーザの胴の周囲に取り付けられるベルトまたはハーネスであることを特徴とする、請求項5に記載の装置。

【請求項7】

当該装置は、衣類の一部を形成することを特徴とする、請求項5に記載の装置。

【請求項8】

当該装置は、少なくとも 1 つのセンサを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 9】

前記呼吸信号の監視手段は、運動センサを含む、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 10】

前記少なくとも 1 つのセンサは、電位心臓センサを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つのセンサは、歪みセンサを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 つのセンサは、温度センサを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つのセンサは、pH メータを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 14】

前記少なくとも 1 つのセンサは、画像センサを含む、請求項 8 に記載の装置。

【請求項 15】

前記恒常的なフィードバックループは、ニューロンのリズムを 13 ヘルツ未満に調整する、請求項 3 に記載の装置。